

変わるユーラシアの地政学

—どうする対口外交

NHK解説主幹、元モスクワ支局長

石川 一洋

- *トラとクマが手を組んだ
- *ドイツとアメリカも対口関係を模索
- *領土拡大が連邦崩壊の危機を招いた
- *西部ウクライナの複雑な変遷
- *プーチンの役割は革命を止めること
- *ロシアとウクライナのアイデンティティ
- *安倍総理の口口打開への熱意
- *独自外交の可能性とリスク
- *ソビエトの中核占めたウクライナ
- *北風が吹くと、まとまるロシア



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、ほぼ1年ぶりにNHKの石川さんにおいでいただきました。

去年はロシアの問題が大分メディアを騒がせました。最近は取り上げられる機会が少なくなっているような気がします。しかし、問題がまったく変わったわけではありませんし、日本との関係につきましても重要な問題を抱えております。メディアが移り気なのは大変問題があると思います。そのため、どうも中国とアメリカ以外のことはなかなか見聞きすることができません。

そういう意味で、ロシアについては大変造詣の深い石川さんに、ロシアの現状と口口関係の今後につきまして、じっくりお話を伺えるかと

思います。

それでは石川さん、よろしく願いましたます。（拍手）

石川 よろしく願います。NHKの石川です。

去年はたしかモスクワに出張に行っておりまして、成田からここに来たということで、考える間もなく見てきたことをしゃべりました。若干去年のほうが楽でした。（笑）今回はそういうことではなく、ここ1年ぐらい、特にここ1カ月ぐらいの事象をまとめて、ロシアという国がこれからどこに向かおうとしているのか1時間強話させていただき、その後で質問に答えたいと思います。

まず、最近のトピックスとしては口口の関係